

# DHC ヌルジクロ ラクボトル

第2類医薬品

# DHC ヌルジクロ ラクボトル

ジクロフェナクナトリウム配合

つらい**痛み**に  
広範囲に  
塗りやすい

肩の痛み  
腰痛  
筋肉痛  
関節痛

さらっと  
塗れて  
ベタつかない

第2類医薬品 50 mL



4 511413 803240

A

## 効能・効果

関節痛、肩こりに伴う肩の痛み、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、筋肉痛、腰痛、打撲、捻挫

**用法・用量** 1日3～4回適量を患部に塗布してください。ただし、塗布部位をラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないでください。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しないでください。

## 用法・用量に関連する注意

1.定められた用法・用量を厳守してください。2.本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤ですので、症状がある場合だけ使用してください。3.本剤は外用にのみ使用し、内服しないでください。4.1週間あたり50mLを超えて使用しないでください。5.目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。6.使用部位に他の外用剤を併用しないでください。7.通気性の悪いもの(ラップフィルム、矯正ベルト等)で使用部位を覆い、密封状態にしないでください。8.塗布前にスポンジ面を患部に押し当て、薬剤がスポンジに浸透していることを確認してください。(スポンジが乾いたまま塗布するとスポンジが破れるおそれがあります。)

火気厳禁

副作用被害救済制度の問合せ先  
0120-149-931



紙



容器

40150 02J01

◆ 成分・分量 ◆ 1g中

成分	分量
ジクロフェナクナトリウム	10mg

添加物として、ハアセチルしょ糖、エタノール、グリセリン、ヒドロキシシプロピルセルロース、ポリオキシエチレンポリオキシシプロピレンセチルエーテル、l-メントール、エドト酸Naを含有します。

### 保管及び取扱い上の注意

- 1.直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。2.小児の手の届かない所に保管してください。3.火気に近づけないでください。4.メガネ、時計、アクセサリ等の金属類、化繊の衣類、プラスチック類、床や家具などの塗装面等に付着すると変質することがありますので、付着しないよう注意してください。5.他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)6.使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用してください。

医薬品 相談室	tel. 03-3762-2581 受付時間 9:00～17:00(日・夜・祝日のぞ)
------------	--

**DHC** 製造販売元  
株式会社ディーエイチシー  
東京都港区南麻布2-7-1  
0120-333-906 www.dhc.co.jp

製造  
番号 701UD

使用  
期限 2020. 3

## 肩の痛み、腰痛、筋肉痛、関節痛などに

# DHC ヌルジクロラクボトル

<経皮鎮痛消炎薬> 50mL

**第2類医薬品**

この説明書は、ご使用前に必ずお読みください。また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

### ◆ 使用上の注意 ◆

#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)  
1.次の人は使用しないでください。(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)ぜんそくを起こしたことがある人。(3)妊婦又は妊娠していると思われる人。(4)15才未満の小児。2.次の部位には使用しないでください。(1)目の周囲、粘膜等。(2)皮膚の弱い部位(顔、頭、わきの下等)。(3)湿疹、かぶれ、傷口。(4)みずむしたむし等又は化膿している患部。3.本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎薬を併用しないでください。4.長期連用しないでください。

#### 相談すること

1.次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。(1)医師の治療を受けている人。(2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3)次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤2.使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮膚のあれ、落屑(フケ、アカのような皮膚のはがれ)、水疱、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎、 光線過敏症	塗擦部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また、日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3.5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。